

月の間に、カーター大統領の訪日、それに伴う東条サミットの開催、そしてその間OPEC諸国の石油値上げによって原油バブル一〇ドル時代が到来したと、これらの過程の中で、いつしかこの問題は、うやむやのうちに解決されたもの如くにみえる。日本にとつて最も強い交渉相手であったストラスウス氏も、いつしか中東移動大使として油やアラブの問題に専念しているようである。

原油価格の一層の高騰および日米両国経済の基本的諸条件にかかわるいくつかの変化によって、昨年度一六億ドルも達した日本の対米貿易黒字は、今年度において大幅に減少する見込みだし、また日本の国際収支全体も去年までとはちがった厳しい基礎に転じつつあるとみられている。そういう事情によつて、さしものNIT問題にもなしくずし的な、そしてある意味ではうやむやな解決もたらされようとしている。

ここで問題なのは、この問題には日米双方にとって汲み取るべき重大な教訓が含まれていたにもかかわらず、問題が他の要因によつてうやむやに解決されることにより、日米双方がその教訓を十分に学ばないままに過ぎてしまはないかということである。NITの問題は、実のところ、一〇年前一九六〇年代の末に起きた日米繊維交渉以来の日本貿易戦争、経済摩擦がその前息に達したものであ

なればならないというところ、この問題には日米双方にとって汲み取るべき重大な教訓が含まれていたにもかかわらず、問題が他の要因によつてうやむやに解決されることにより、日米双方がその教訓を十分に学ばないままに過ぎてしまはないかということである。NITの問題は、実のところ、一〇年前一九六〇年代の末に起きた日米繊維交渉以来の日本貿易戦争、経済摩擦がその前息に達したものであ

80年代の日米関係への注文

(上)

◇反省すべき日本の経済聖域論◇

神谷不二



かかわるものがあり、政治や外交の世界でも、その衝にあたる人々が世間一般の相場や常識からあまた大きく逸脱しないということ、浪花節もときの一掃さえも

が、国民一般の支持を得、信をうなくゆえんであると思われ。松野英が五億円のいわゆる政治献金を受け取ったという事件にして、五億というのはそれだけの突破したという事実、これはいずれも、一般的な相場や常識から考えればそれだけに相違ない。そういう非常識な金を受け取ったことが判明した議員にたいして、今もって除名も離党勧告も出来ない自民党の姿は、当面はそれで済むかもしれないけれど、大きなむかもしなければならない。これを示さなければいへん。あんなに兆候を示しているといわねばならない。それはつまり、自民党が世間一般の相場をこきり落しては大きくかけ離れたことを考へては、それが決して日本がアメリカ国民の間で支持を得、その信頼を高めるに支えられない。日本側が日米経済関係の現状が

は、国民一般の支持を得、信をうなくゆえんであると思われ。松野英が五億円のいわゆる政治献金を受け取ったという事件にして、五億というのはそれだけの突破したという事実、これはいずれも、一般的な相場や常識から考えればそれだけに相違ない。そういう非常識な金を受け取ったことが判明した議員にたいして、今もって除名も離党勧告も出来ない自民党の姿は、当面はそれで済むかもしれないけれど、大きなむかもしなければならない。これを示さなければいへん。あんなに兆候を示しているといわねばならない。それはつまり、自民党が世間一般の相場をこきり落しては大きくかけ離れたことを考へては、それが決して日本がアメリカ国民の間で支持を得、その信頼を高めるに支えられない。

は、国民一般の支持を得、信をうなくゆえんであると思われ。松野英が五億円のいわゆる政治献金を受け取ったという事件にして、五億というのはそれだけの突破したという事実、これはいずれも、一般的な相場や常識から考えればそれだけに相違ない。そういう非常識な金を受け取ったことが判明した議員にたいして、今もって除名も離党勧告も出来ない自民党の姿は、当面はそれで済むかもしれないけれど、大きなむかもしなければならない。これを示さなければいへん。あんなに兆候を示しているといわねばならない。それはつまり、自民党が世間一般の相場をこきり落しては大きくかけ離れたことを考へては、それが決して日本がアメリカ国民の間で支持を得、その信頼を高めるに支えられない。

明に対処し得るといことは、それ自体フランスの材料であるはずだが、しかし今後の新しい時代の特徴は、日本が相対的にあまりにも賢明に新しい困難に対処するといふことが、日本にとってのプラスでなくむしろマイナスに転化するようになるかもしれないという問題が、同時に考えられなければならない。つまり、日本だけが国際的な困難にあまりにもうまく対処するといふことによつて、日本の立場が相対的によくなり過ぎるといふところにもむしろ日本の極みがある。これが新しい時代の大きな一つの特色であつて、こういった点をも含めて日本が反省をしなければならぬとするならば、その反省は当然に経済聖域論への反省、つまり軍事ではなく経済の領域であれば日本は何をしてもかまわない、そういう発想の再検討でなつていなければならない。しかしながら、一九七三年のオイル・クライシスを、結局のところもつとも巧妙かつ賢明に乗り切つたのが日本であつたと同じように、今回の新しい事態にたいしても、おそくこれをもちも巧妙かつ賢明に対処しうるのは日本ではなからうかと思われ。なぜかといえば、日本の経済ないし社会的なシステムが、東京サミットに集まつた先進諸国を含む他の国々よりも、今やはつきりと相対的に優れているからである。

明に対処し得るといことは、それ自体フランスの材料であるはずだが、しかし今後の新しい時代の特徴は、日本が相対的にあまりにも賢明に新しい困難に対処するといふことが、日本にとってのプラスでなくむしろマイナスに転化するようになるかもしれないという問題が、同時に考えられなければならない。つまり、日本だけが国際的な困難にあまりにもうまく対処するといふことによつて、日本の立場が相対的によくなり過ぎるといふところにもむしろ日本の極みがある。これが新しい時代の大きな一つの特色であつて、こういった点をも含めて日本が反省をしなければならぬとするならば、その反省は当然に経済聖域論への反省、つまり軍事ではなく経済の領域であれば日本は何をしてもかまわない、そういう発想の再検討でなつていなければならない。しかしながら、一九七三年のオイル・クライシスを、結局のところもつとも巧妙かつ賢明に乗り切つたのが日本であつたと同じように、今回の新しい事態にたいしても、おそくこれをもちも巧妙かつ賢明に対処しうるのは日本ではなからうかと思われ。なぜかといえば、日本の経済ないし社会的なシステムが、東京サミットに集まつた先進諸国を含む他の国々よりも、今やはつきりと相対的に優れているからである。

明に対処し得るといことは、それ自体フランスの材料であるはずだが、しかし今後の新しい時代の特徴は、日本が相対的にあまりにも賢明に新しい困難に対処するといふことが、日本にとってのプラスでなくむしろマイナスに転化するようになるかもしれないという問題が、同時に考えられなければならない。つまり、日本だけが国際的な困難にあまりにもうまく対処するといふことによつて、日本の立場が相対的によくなり過ぎるといふところにもむしろ日本の極みがある。これが新しい時代の大きな一つの特色であつて、こういった点をも含めて日本が反省をしなければならぬとするならば、その反省は当然に経済聖域論への反省、つまり軍事ではなく経済の領域であれば日本は何をしてもかまわない、そういう発想の再検討でなつていなければならない。しかしながら、一九七三年のオイル・クライシスを、結局のところもつとも巧妙かつ賢明に乗り切つたのが日本であつたと同じように、今回の新しい事態にたいしても、おそくこれをもちも巧妙かつ賢明に対処しうるのは日本ではなからうかと思われ。なぜかといえば、日本の経済ないし社会的なシステムが、東京サミットに集まつた先進諸国を含む他の国々よりも、今やはつきりと相対的に優れているからである。

【運営委員】会田雄次 加藤 寛 高坂正寿 村松 暎
 【評議員】会田雄次 阿川弘之 石川忠雄 板垣与一 衛藤藩
 吉 大平善和 加藤俊一 神谷不二 加藤 寛 木内内胤 気
 賀能三 久保田きぬ子 高坂正寿 坂本 邦 鈴木重信 竹山
 道雄 角田 剛 長谷川進一 林 健太郎 福田博存 櫻島案
 輔 三好 修 武藤光朗 村松 暎 村松 剛 吉村 正
 【事務局長兼言論人主幹】浅岡光正

【言論人懇話会・運営委員並びに評議員】
 (次号につづく)
 (慶応義塾大学教授)